

山川浩 （やまがわ） 舊會津藩家老、陸軍軍人、歌人。弘化二年十一月六日  
陸奥國會津若松生れ、明治二十一年二月四日歿（二八五―九八）。講重聚、  
字七亮、通稱大藏・與七郎。變名結城左馬助、號一去堂主人、屠龍子。  
戊辰戰で會津開城、斗南藩の權大參事となり、移住・授産の盡力。西  
南役では西征別動軍參謀。のち高等師範學校校長、貴族院議員、陸軍  
少將歴任。男爵。

歌集 『まごころ山集』（高木盛之齋編、明治二十五年九月十六日栃木・  
長谷川調七刊）、遺稿 『京都守護藏始末』（明治四十四年十一月二十  
日沼澤七郎・黒河内良刊）。桜井懋編 『山川浩』（昭和四十二年十一月二十  
日一月刊）がある。